

●タウンコレティブみなこい(南小岩)

洋室6畳+バルコニー (居室3)
家賃 59,000円/月



共用部分: リビング、ダイニングキッチン、バス、トイレ、庭
最寄駅: JR総武線 小岩駅より徒歩18分、都営バス停より徒歩3分(錦糸町行きなど)
共益費など: 居住者組合で決めて運営、居住者で分担



〈こんなことやってます〉
月一回のミーティングで、どんな風に暮らしていきたいかなど話し合っています。前は「ひなまつり」をやるかと決まり、さっそく三月三日に行いました。赤ちゃんや小学生も含め、居住者の知り合い8名が集まり、差し入れのおやつを食べながら詩を詠んだりおひなさま作りをしました。次回の定例会の後には、COMMONミールでベトナム料理を作る予定です。

〈これからやってみたいこと〉
・和室を利用した「〇〇cafe」(手しごとcafe、肩もみcafeなど)
・玄関前のスペースで野菜作り
・近くの公共施設で卓球
・タウンコレティブ南小岩の紹介、ZINE作り
地域の方ともゆるやかにつながっていくことを目指しています。何かやってみたい人、集まれ〜!

居住者のブログ

実際の暮らしの様子は、コチラ
スガモフラット
<http://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>
コレティブハウス聖蹟
<http://chcseiseki.blog60.fc2.com/>
コレティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/



その他の空室情報はコチラ

静かな住宅街の、昭和の香りのする一軒家。近くに親水緑道や川があり、お散歩やサイクリングが楽しめます。駅前から続くレトロな商店街には、元気な個人商店もたくさんあり買い物に便利です。



スケジュール

●住みたい方オリエンテーション

コレティブハウスに住みたい暮らしづくりに興味のある方
4月3日(火) 19:00~21:00
4月12日(木) 19:00~21:00
4月22日(日) 10:00~12:00
5月9日(水) 19:00~21:00
5月13日(日) 10:00~12:00
5月24日(木) 19:00~21:00

参加費: 無料
会場: 目白CHCオフィス

●コレティブハウジング入門

コレティブハウジングのことをお知りになりたい方
4月3日(火) 13:30~15:00
4月19日(木) 19:00~20:30
4月27日(金) 19:00~20:30
5月8日(火) 13:30~15:00
5月17日(木) 19:00~20:30
5月25日(金) 19:00~20:30

参加費: 3,000円
会場: 目白CHCオフィス

●コレティブハウス見学会

実際のハウスを見てみたい方
スガモフラット
4月22日(日) 13:00~15:00
コレティブハウス聖蹟
4月28日(土) 13:00~14:30
コレティブハウス大泉学園
5月27日(日) 13:30~15:00

参加費: 4,000円
会場: 各ハウス

お知らせ

目白オフィス 毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。目白にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。
※メンバーが不在の場合もありますので、事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / E-mail: info@chc.or.jp

●Facebook ページ公開中

右のQRコードからアクセスしてください。



「これこれ新聞」編集部員募集!

これこれ新聞編集部では一緒に編集に携わってくださる方、配架に協力してくださる方を募集中! ご連絡お待ちしております。

「これこれ川柳」も募集中!

皆様の暮らしにまつわる川柳を随時募集しています。投稿はメールで、宛先「cllecllego@gmail.com」に、川柳と筆名(ペンネーム)を『これこれ新聞川柳係』宛てにお送りください。

【編集後記】

やっと梅の花が咲き始めました。待ち遠しかった春がやってきます! 花粉症の人には忍耐の季節ですが・・・皆様の投稿も募集中! お題は「マイブーム(今ハマっていること)」。ペンネームを添えて、cllecllego@gmail.com まで。

隔月刊 CHC これこれ新聞

【リレー連載】コレティブハウスって何?
「住まいは暮らしの宝箱である」巨匠ル・コルビジェの言葉。いろいろな人々が集い、暮らすコレティブハウス、暮らしのこまごましたことを丁寧に作ってあげれば、宝石のように美しく魅力的な暮らしが待っているかも。(編集部K)



祝! スガモフラット10周年パーティー開催

~コレティブハウスに思うこと~

CHかかん森に続くコレティブハウス第2号として、2007年2月、豊島区巣鴨にオープンしたスガモフラット。去る2月25日(日)、その10周年パーティーが開かれました。パーティーは約2時間半という短い時間ながら、まずは10年間のスガモフラットの歩みをスライドで紹介、次に全員でゲーム、続いてコレティブハウスならではのワークショップ、最後に食事をしながらの交流会と満載でした。

私は、今回のイベントでの目玉でもあるワークショップに、スガモフラット、かかん森、元総社 commons の皆さんがいるグループで参加しました。そこでは、色々なハウスの主に定例会について意見交換しました。

さて、この記事を読んでいる方も、会社やご近所、家族など様々な話し合いやミーティングの場に参加することがあると思いますが、話が長いなあと感じたことはありませんか?

コレティブハウスは血縁でない生まれも世代も異なる人たちが、一つのコミュニティを形成し、一つの建物内を自主管理しながら暮らしています。そこでの課題や疑問を話し合い、解決していくのが定例会の一つの目的です。また、そういったすべての居住者が対等な関係で発言機会を与えられ、暮らしを共により



良いものとするのが定例会では行われており、どうしても長時間に及ぶことがこのハウスでも課題でした。

一見大変そうだなと思ってしまいましたが、暮らしに直結することばかりで、居住者はみんな真剣そのもの、時間がないからと途中でやめるわけにもいきません。しかし、いろいろなハウスが集まると、そこは定例会の達人?たち、色々な知恵や工夫が聞けました。

例えば「それだけで議論になるような議題では別に時間を設けてワークショップ形式で話し合う」とか「報告事項にかかる時間をできるだけシンプルに短くし、話し合いの時間を中心に行う」など。こういったコレティブハウスの定例会での工夫を家庭や会社のミーティングで使ってみてはいかがでしょうか。(R.O.)

快挙! CHCの活動がもととなって画期的な「空き家活用条例」が生まれました

日本初「家族的な住まい方の認定」

現在の法律では、親族関係にない人々が「戸建住宅」を共同で利用して生活する場合、「寄宿舍」への用途変更の手続きが必要です。各部屋間を耐火構造にしなければならないなど、合法的に空き家を活用することが難しい状態となっています。今回、豊島区では「家族的な住まい方」という日本初の内容を導入し、それを「住宅」として認定する画期的な「空き家活用条例」を制定しました。

狩野理事が中心となり、豊島区居住支援協議会とCHCが連携し、約5年にわたって「空き家を活用したタウンコレティブ事業」の試行錯誤を重ねてきた結果が、今回の日本初の画期的な条例の誕生に結び付きました。現在は豊島区の条例ですが、今後他の地域でも同様の条例制定が広がっていくものと思われます。

◎豊島区空き家活用条例
(平成29年12月6日公布、平成30年4月1日施行) から抜粋

- 第14条 空家の所有者等は、次の各号のいずれにも該当する住まい方として活用しようとするときは、規則で定めるところより、区長に申請し、家族的な住まい方として認定を受けることができる。
- (1)居住者数は、4人以上であり、かつ、居室数を上限としたものであること。
 - (2)居住者は、18歳以上であり、全員が親族関係にないこと。
 - (3)居室の床面積は、それぞれ7平方メートル以上であること。
 - (4)所有者と居住者の入居に係る契約(以下「入居契約」という。)は、居住者全員の連名で行い、その契約に基づく一切の債務について居住者が連帯して履行の責任を負うものであること。
 - (5)入居契約は、契約者以外の者が入居できないものであること。



[特報!!] これこれ新聞の新キャラクターをご紹介します。デザインしてくれたのはグラフィックデザイナーの梶浦孝博さん! では梶浦さん、自己紹介よろしく。「ヒゲプロというグラフィックデザイン、アニメの制作等をしている会社をやっています。可愛い系、ゆるい系の制作を得意としております。デザインよろず相談も受け付けております。http://higepro.jp/」



コレクティブハウス聖蹟の居住者が 行ってきました! 見てきました!

スウェーデン見聞録

2月にコレクティブハウス聖蹟の居住者でスウェーデンのコレクティブハウスを訪問しました。現地に滞在してコレクティブハウスの研究をしている方がアレンジしてくださり、それぞれのハウスでお話を聞かせていただき、現地と自分たちのコレクティブの違いや、長い経験からの知恵や工夫は大いに勉強になりました。

特にフェルドクネッペンでは、CHCが多くを学んだところだからか、あらためて今の自分たちの暮らしについて原点に立ち戻るような刺激を受けました。

今回の訪問について、スウェーデンのコレクティブハウジングの組織 kollektivhus-nu のウェブサイトの記事にしてくださっています。とても嬉しいので、スウェーデン語ですが紹介します。(H.Y.)



<http://kollektivhus.se/nyheter/japanskt-studiebesok-i-uppsala-och-stockholm/>

ウプサラのまち



①ブレندا



K君がスウェーデンのハウスに持っていったお土産はけん玉、逆さゴマ、福笑い、豆まき、お菓子色々。



最年少K君(小6)帰国後の感想

初めての海外家族旅行でした。スウェーデンは、自然が多く、身近にあるという印象でした。
スウェーデンのコレクティブハウスで感じたことは、
・ゲストルームにお風呂やサウナまであった!
・コモンスペースの扉に鍵がかかってあって、セキュリティとしての安心感がある一方で、普段の生活には日本の方が便利に感じた。
・居住者の皆さんは、思ったほどフレンドリーでないというか、日本人みたい(?)にシャイだったけど、けん玉で交流ができた。(特に剣道をやっているという人!)
・コモンミールは、バイキングでセルフサービス形式だったけど、日本でもそういうやり方で良いと思う。
・おもちゃの「カブラ」がいっぱい置いてあったのが、うらやましい!
他に、スウェーデンは、おかしが甘い! ペットボトルのリサイクルを一生懸命やっている。スウェーデンでは宮殿の建物前でいけて、オープンだったので、日本でも皇居をもっと国民に開放してほしい。
普段、言葉が通じるっていいなって、あらためて感じた。
スウェーデンには、また行ってみたい!
※カブラとは...8x24x120mmというかまぼこ板を小さくしたような大きさの板が1種類あるだけのおもちゃ



②ソードラスタション



③フェルドクネッペン



3つのコレクティブハウス見学の印象は...

①Blenda@Uppsala (ブレندا)

こちらでは滞在中、宿泊もさせていただきました! また、滞在中に「Japanska Fika」も開催。ぶっつけ本番の茶道・福笑い・豆まきや駒回しなどを紹介しました。福笑いは思いのほか大盛り上がりで、あちこちから大きな笑い声が。

②Södra station@Stockholm (ソードラスタション)

手作りの「セムラ」(イースターの前にいただくスウェーデンの国民的スイーツ)をいただきながらお話を聞きました。規模が大きく、大人と子ども合わせて約180人という、ちょっと我々の想像を超える人数。入居開始から30年が経つコレクティブハウスで、途中、賃貸から分譲への転換を経験しているそう。コレクティブハウスで育つ子どもたちのことを訊いたところ、案内して下さった方のお子さん(すでに大人)の話として、本人がコレクティブで育ったことを誇りに思っているということと、大人との話し方や、年上の人への接し方などが自然に身についた、と聞かせていただきました。

③Färdknäppen@Stockholm (フェルドクネッペン)

40歳以上の方が住むことができるコレクティブハウス。こちらではミールもいただきました。ミール中の居住者の方とのお話が今回の旅で一番心に残りました。「この暮らしで大切なことは『共に何かをすること』。例えば共に料理をして共に食事をするとか。みんなを好きでいなくてはいけなななんてことはないよ。共に何かをすることでその人(らしさ)を知れるじゃない。それでいい。共に何かをすることで日々の暮らしが豊かになる」とおっしゃってましたが、日本のコレクティブハウスに住む私もまったく同じことを思っていたので、お話中、スウェーデンと日本、距離は遠いですが、とても近くに感じた瞬間でした。(A.K.)

スウェーデンの基本情報

[地理]スカンジナビア半島
[人口]約974万人
[GDP]一人当たり54,829ドル
[特徴]積極的な移民政策、全員参加型の労働市場、国民総番号制度の早期導入(1947年)など



1日目	✈️ 午後ストックホルムアーランダ空港着。遅めのランチ後ウプサラへ移動し、宿泊したブレنداへ。
2日目	●終日 ウプサラ観光
3日目	●終日 ストックホルム観光
4日目	●午前 ストックホルム蚤の市 ●午後 ブレنداにてジャパニーズフィカ
5日目	●午前 ウプサラ観光 ●午後 ストックホルムのコレクティブハウス見学
6日目	ウプサラ観光、夕方帰途に。✈️

ストックホルムのまち

